



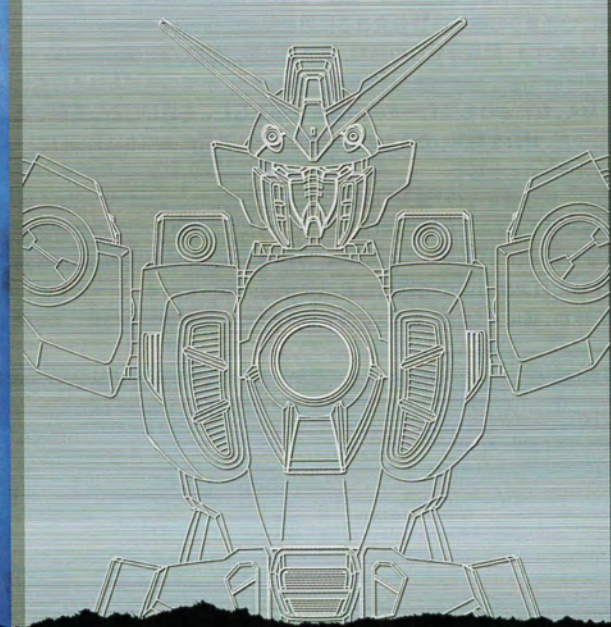
XXXG-01W
「ウイングガンダム」
1/100スケール
マスターグレードモデル

WING GUNDAM
COLONIES LIBERATION ORGANIZATION GUNDAM WING SYSTEM XXXG-01W

新機動戦記
ガンダムW
GUNDAM WING

MOBILE SUIT
XXXG-01W

WING GUNDAM



XXXG-01W
「ウイングガンダム」
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI 2010 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。

0162352



XXXG-01W WING GUNDAM

A.C. (アフターコロニー) 175年。地球から巣立った人類は、宇宙コロニーでの生活に新たな希望を求めている。しかし、地球圏統一連合は、正義と平和の名の下に、圧倒的な軍力をもって各コロニーを制圧していった。この年、コロニー間に連帯をもたらす、連合に対抗可能な自治組織とすべく活動していた伝説的指導者“ヒイロ・ユイ”が暗殺された。さらにA.C.182年、完全平和主義を唱え実践していた北欧の小国“サンクキングダム”が、連合の軍事介入に伴うMS (モビルスーツ) 部隊の進撃によって蹂躪された。かくして王は^{たぬ}斃れ、幼い王子と姫は行方不明となった……。

A.C.歴のMSは、宇宙空間での作業機器として誕生し、コロニー建設などに投入されることで広く普及した。ところが、A.C.175年前後に“兵器”としての可能性に着目したOZによってトルギス (プロトリーオー) が開発されて以降、MSは画期的な機動兵器としての進化を始めた。トルギスのスペックは非常に高く、というよりも“異常に高すぎた”ため、高度に訓練されたパイロットであっても乗りこなす事は困難であった。かくして、トルギスを極端にデチューンしたMS“リーオー”が開発され、主力兵器として採用された。以後、OZが生産、供給するMSは、すべてリーオーを基準とすることとなった。しかし、トルギスの開発において中核的な立場にあった数人の技術者たちは、さらなる高性能MSを開発すべくOZを出奔する。そして、その内の5人が集結し、当時の最先端素材である“ガンダニウム”をはじめ、将来の技術発展を見越した“未だ存在しない技術や素材”を取り込んだMSを開発する。トルギスの失敗を踏まえて開発されたそれは、パイロットの身体機能の限界を超越する事が可能なマンマシンインターフェイスを搭載した恐るべき機体となった。それこそが“ゼロ”であり、採用した素材から“ガンダム”のコード名が与えられた。しかし5人は、ゼロのあまりの破壊係数の大きさに恐れを抱き (実際には、その時点で必要なスペックのパーツが調達不能だったこともあって)、結局はゼロの開発、建造を中断、放棄してしまうのであった。OZはその断片的なデータから、“ガンダム”という高性能MSの出現を予見したものの、実際の脅威となる可能性があまりに低かったため対策を講じることはなく、なによりも連合へのMS供給を優先した。それがOZの黒幕であるロームフェラ財団の意向だったからである。一方、ゼロを開発した5人の技術者は、それぞれの拠点となるコロニーに帰還、潜伏し、各々が独自に“ガンダム”を開発することとなる。

A.C.195年。連合に反目する一部のコロニー居住者たちの“協力”を得て、流星に偽装した“5機のガンダム”が地球に送り込まれた。この「オペレーションメテオ」によって地球に送り込まれた“ガンダム”のうち、ドクターJが開発した「ウイングガンダム」は、強力な破壊力を持つ“バスターライフル”と“バード形態”に変形しての高速移動を特徴とする“ガンダム”であり、地球に降下したガンダムの中では最も汎用性が高い機体である。シールド内にはビームサーベルを内蔵。頭部バルカン砲のほか、肩にマシンキャノン装備しており、近接戦闘にも対応している。

BUSTER RIFLE バスターライフル



“ガンダム”の多くが携行するビーム兵器は、既存のMSが使用するビーム兵器とは桁違いの威力を持っている。それは、ガンダニウム合金の採用によって、ビーム発生に必要な各装置の性能や耐久性が飛躍的に向上しているためである。まず、ジェネレーター自体の稼働効率が劇的に改善されているほか、高エネルギーを物質化寸前まで縮退させたままの状態でもカートリッジ化することが可能となったのも、ガンダニウム合金製のキャパシターが開発されたためである。特にウイングガンダムが携行するバスターライフルのエネルギー総量は、中規模都市が消費するエネルギー量に匹敵すると言われ、そのビームの威力は、周辺の大気をイオン化し、ビームの光軸を中心とする半径150mに及ぶ激しいプラズマ渦流と数十kmにおよぶ灼熱の奔流を巻き起こすほどである。また、このビーム自体が複合的な層を生成しており、高速で貫通力が高いビーム帯の中心を低速で破壊力強い粒子束がさらに貫通する。事実上、ガンダニウム製の装甲以外にこの攻撃を防御できる物質は存在せず、唯一、強力な電磁的アンチフィールドによる回避や偏向、あるいは同等のビーム兵器による相殺や減免が辛うじて有効な程度である。



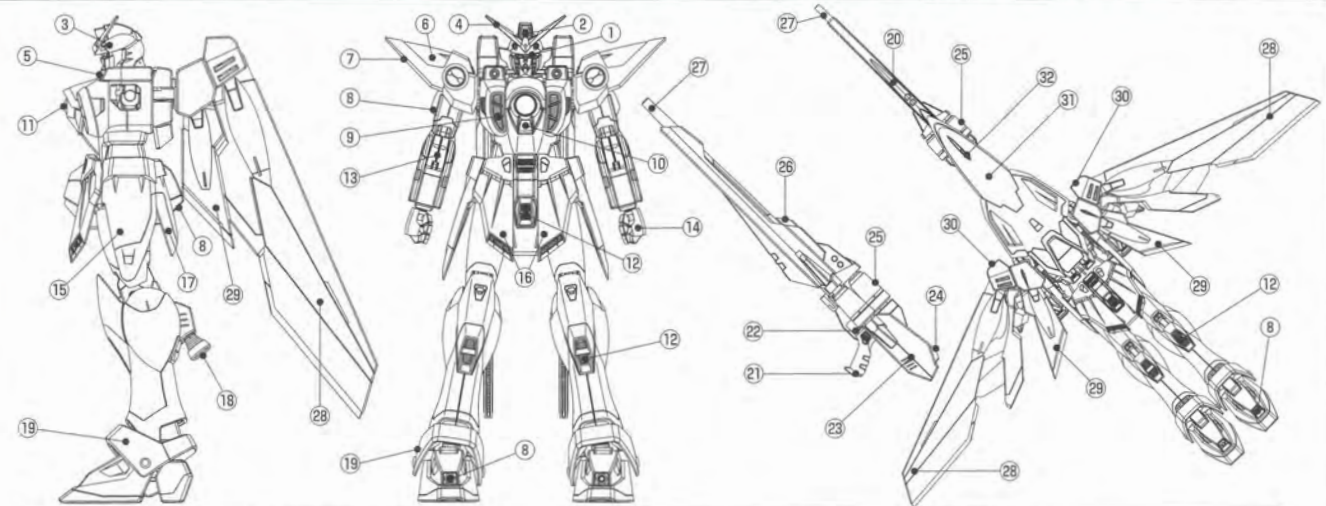
WING UNIT ウイングユニット

ウイングガンダムの機動性のほとんどは、バックパックと一体化したウイングユニットに集約されている。このユニットは、単に“空力的に揚力を発生させる翼”であるのみならず、翼自身がスラスターとしての機能を合わせ持ち、また高い防御能力を発揮する。さらに、機体各部にもスラスターが配置されており、戦闘時のブースターや離脱用の機動装備として機能する。また、宇宙空間においては、ウイングユニットそのものが、質量を能動的に移動させる事による機動性の向上を実現している。さらに、複数のパネルの接合面はその間隔を調整する事も可能で、機体の形状的な空力特性を失速寸前から極超音速域まで速度に応じて微調整している。ウイングガンダムは、“ゼロ”のコンセプトを最も色濃く継承する“ガンダム”であり、あらゆる環境でその威力を発揮する汎用性の高さを誇る。特に、飛翔、飛行による移動能力の高さは5機のガンダムの中でもトップクラスであり、立体的な戦術展開はもとより、ブースターによる衛星軌道や弾道経由での前線投入など、バスターライフルの破壊力と合わせて考えれば、戦略兵器としての運用も不可能ではない。



頭頂高 16.3m 本体重量 7.1t
材質 ガンダニウム合金
武装 バルカン砲、マシンキャノン、バスターライフル、ビームサーベル

Parts and spec XXXG-01W WING GUNDAM



- | | | | |
|-------------|--------------------|--------------|-------------------|
| ①デュアルセンサー | ⑨エアダクト/インテーク | ⑬リアアーマー | ⑲エネルギーバック |
| ②メインカメラ | ⑩コックピットハッチ | ⑭レッグスラスター | ⑳センサー |
| ③バルカン砲 | ⑪マルチチャージャー/インジケーター | ⑮アンクルアーマー | ㉑マズル |
| ④ブレードアンテナ | ⑫クロッチスラスター | ⑯バスターライフル | ㉒メインウイングスラスターユニット |
| ⑤マシンキャノン | ⑬ランディングクロー | ㉑グリップ | ㉓サブウイングスラスターユニット |
| ⑥ショルダーアーマー | ⑭マニピュレーター | ㉒トリガー | ㉔リバーススラスター |
| ⑦ショルダースラスター | ⑮サイドアーマー | ㉓サブエネルギーシステム | ㉑シールド |
| ⑧サブスラストモーター | ⑯フロントアーマー | ㉔ダクト | ㉒カナード |

注) この機体は、A.C.195年に「オペレーションメテオ」によって実戦投入される前、流星に偽装した大気圏突入カプセルに積載する直前の最終チェック時点のものです。

△ 注意

必ずお読みください

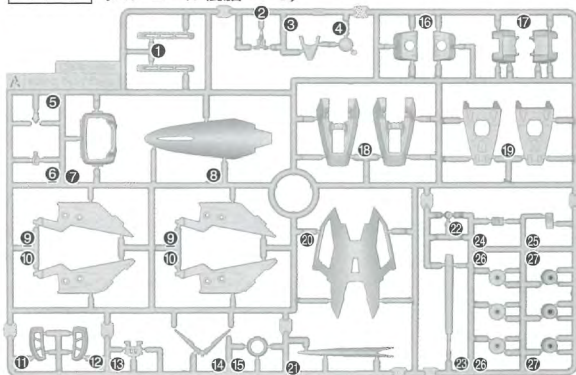
- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

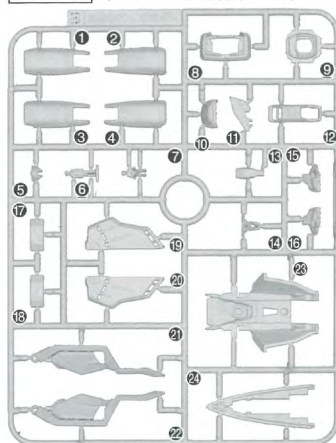
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
 - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
 - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

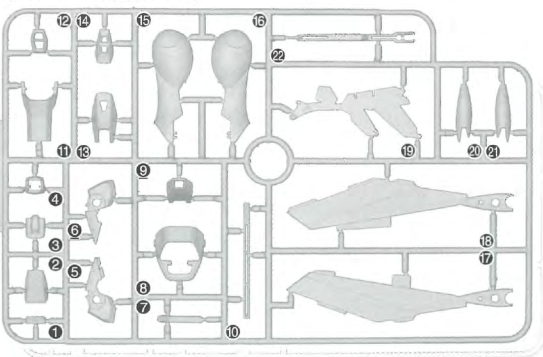
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



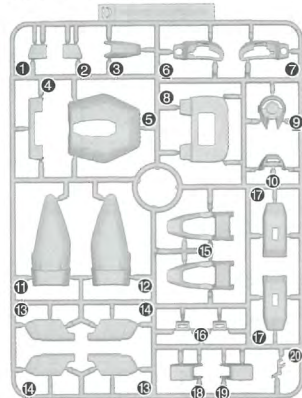
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



Cパーツ (×2) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



Dパーツ アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)

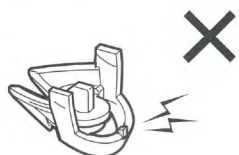


アンダーゲートの切り方 ▶ アンダーゲートマークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

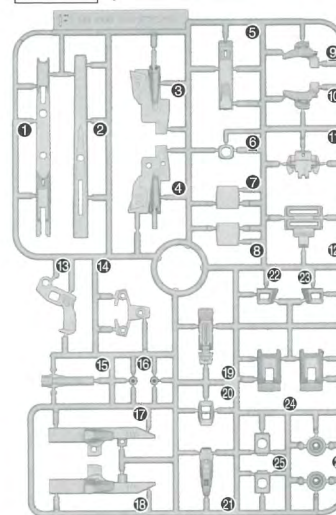
※説明書で **アンダーゲート** と表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。
▶ の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。

アンダーゲート

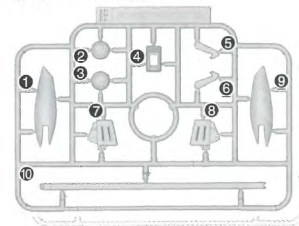
D9



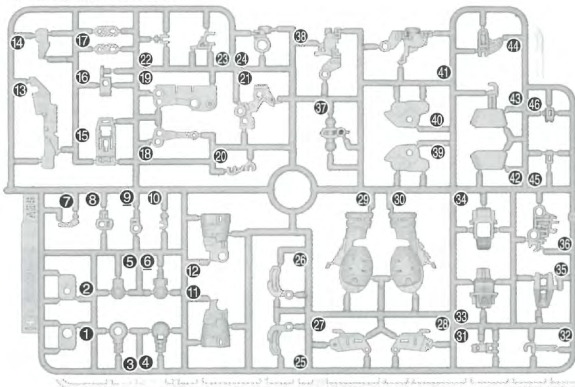
Fパーツ (スチロール樹脂: PS)



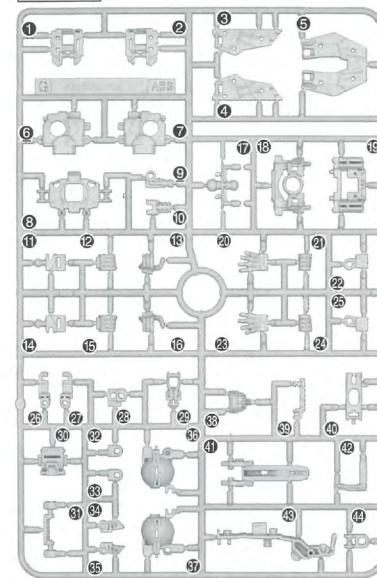
Eパーツ (×2)
(スチロール樹脂: PS)



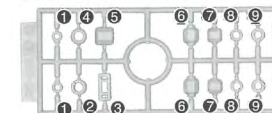
Hパーツ (×2)
(ABS樹脂: ABS)



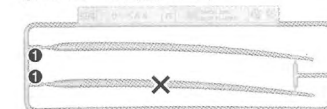
Gパーツ (ABS樹脂: ABS)



PC-205パーツ
(ポリエチレン: PE)



SB4パーツ
(スチロール樹脂: PS)

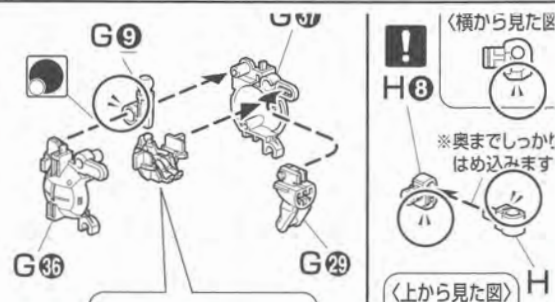


カラーシール.....1枚
マーキングシール.....1枚
ガンダムデカール.....1枚

組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

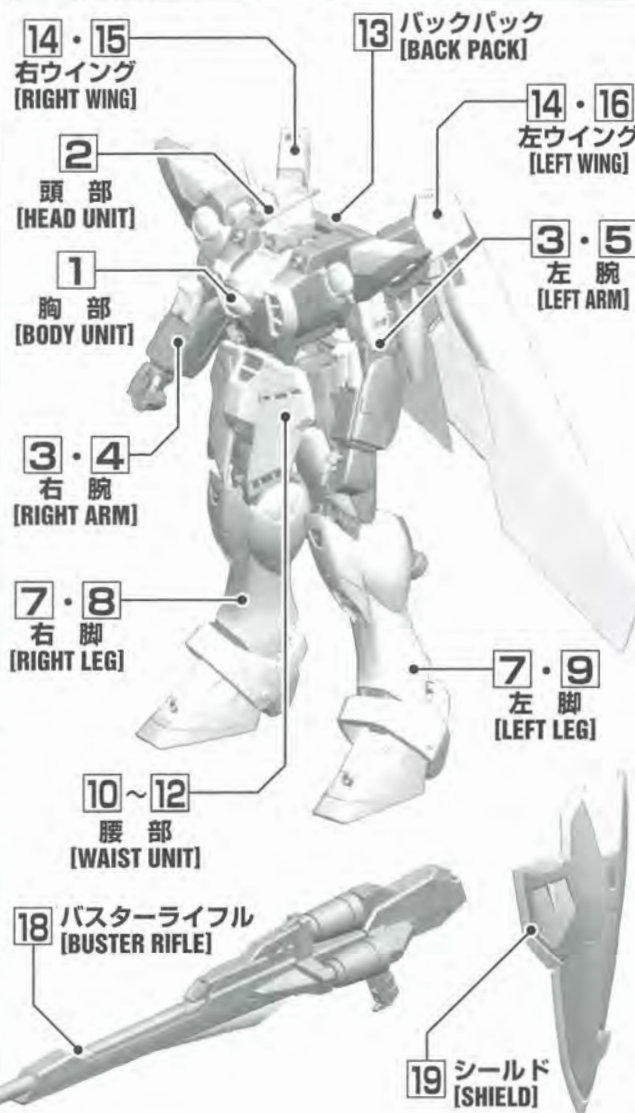


②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、すれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に直し、その部分を再度こすりつけます。

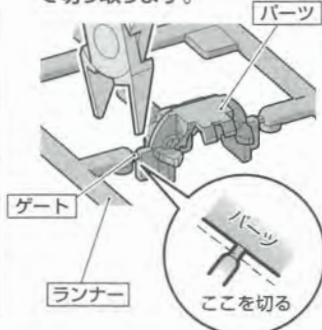
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう



パーツの切り取りかた

①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくったところでゲートの処理に入ります。



③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



1 BODY UNIT

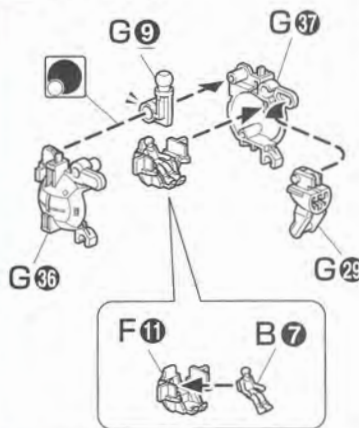


・組立1で使用するパーツ

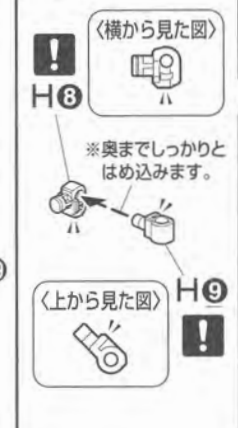


・カラーシール

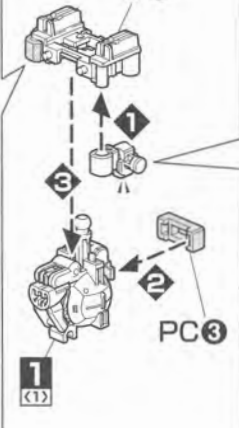
1 (1) 胸部の組立 BODY UNIT



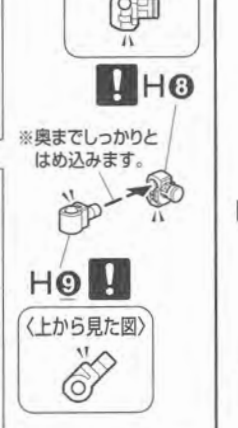
1 (2)



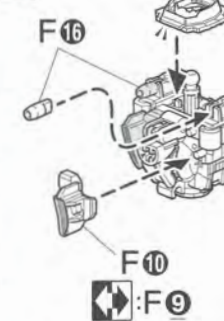
1 (3)



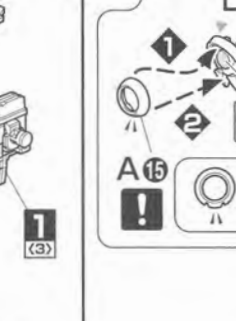
1 (4)



1 (5)



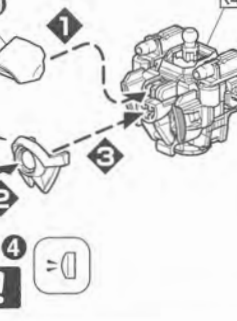
1 (6)



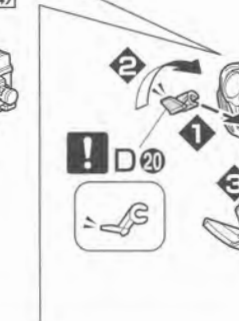
1 (7)



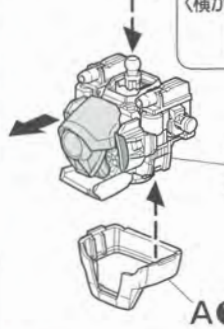
1 (8)



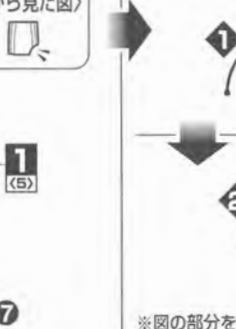
1 (9)



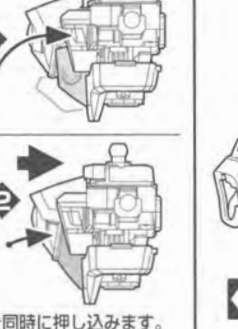
1 (10)



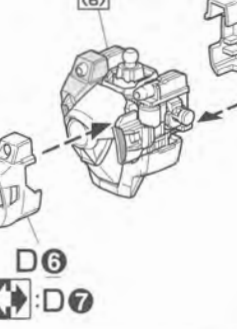
1 (11)



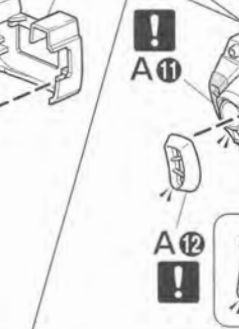
1 (12)



1 (13)

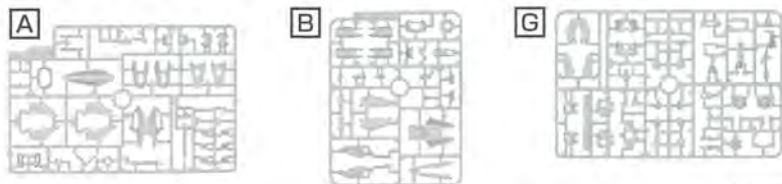


1 (14)



2 HEAD UNIT

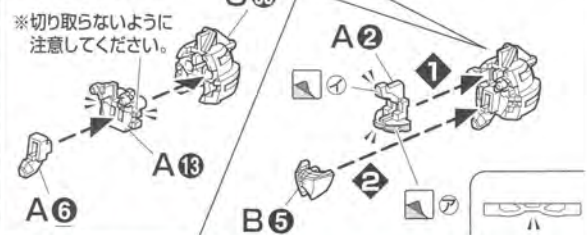
・組立2で使用するパーツ



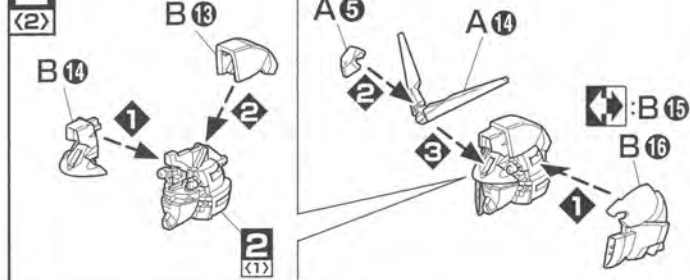
・カラーシール

2 (頭部の組立)

2 (1) HEAD UNIT

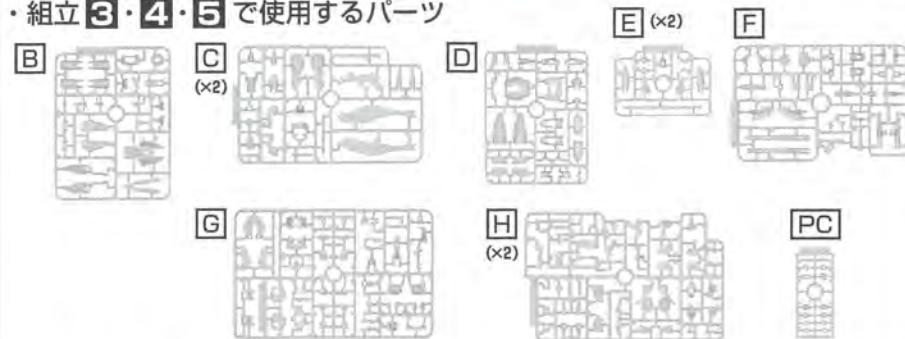


2 (2)



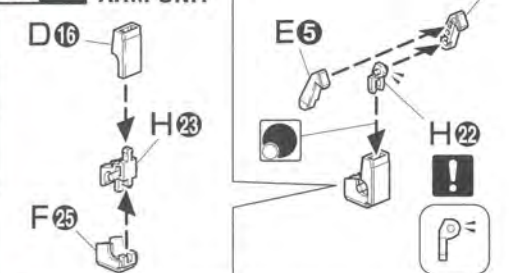
3 4 5 ARM UNIT

・組立3・4・5で使用するパーツ



3 (腕部の組立)

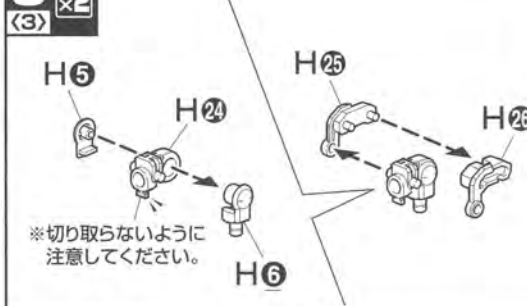
3 (1) ARM UNIT



3 (2)

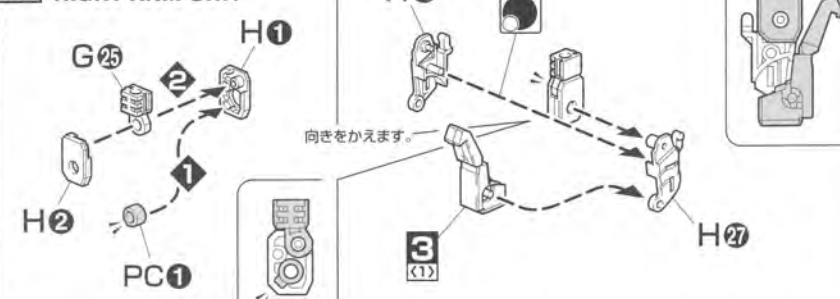


3 (3)

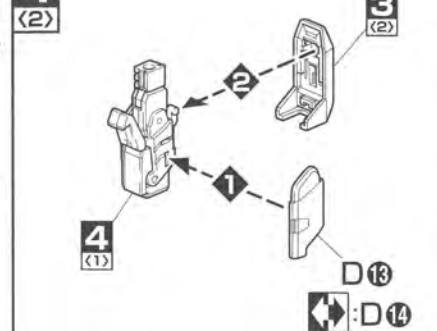


4 (右腕の組立)

4 (1) RIGHT ARM UNIT



4 (2)



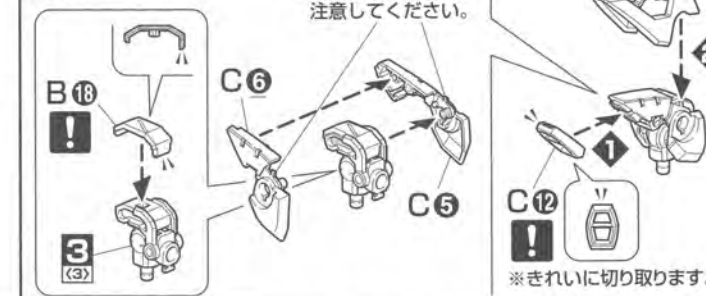
4

4 (3)



4

4 (4)



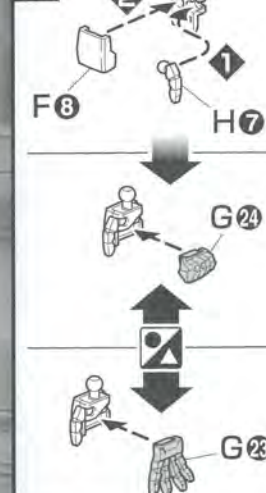
4

4 (5)



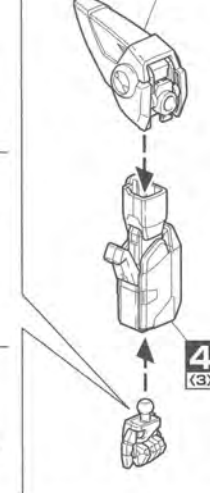
4

4 (5)



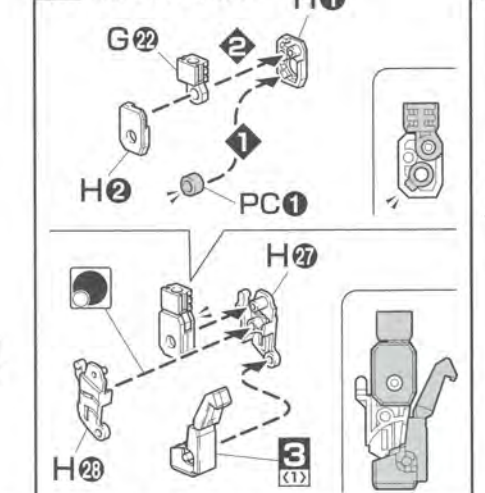
4

4 (4)



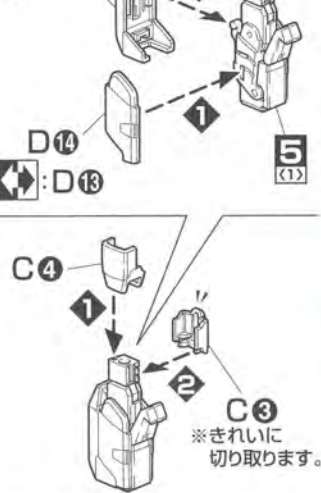
5

5 (1)



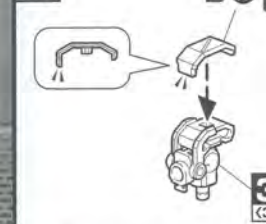
5

5 (2)



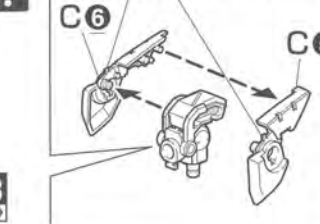
5

5 (3)



5

5 (4)



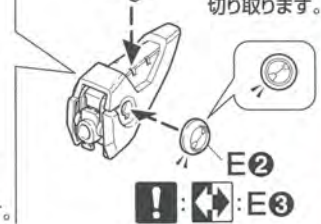
5

5 (4)



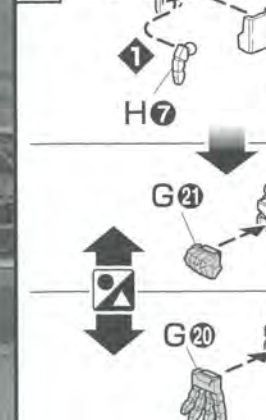
5

5 (4)



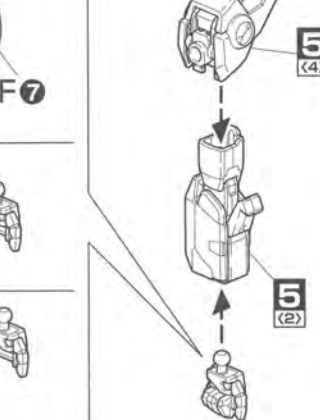
5

5 (5)



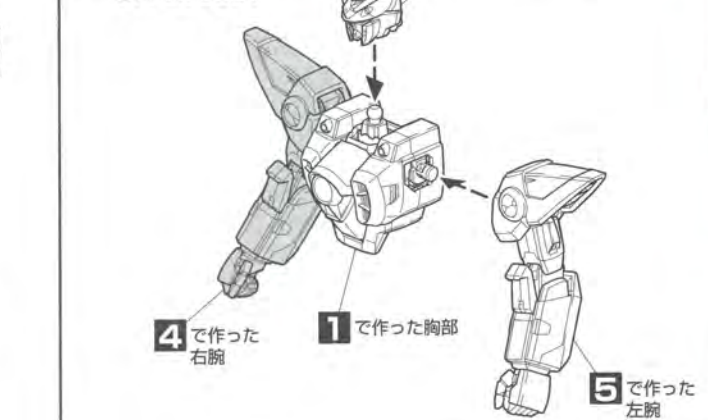
5

5 (4)



6

6 (上半身の組立)



The Shooting Star She Saw

A.C. 195年。圧政を続ける地球圏統一連合に対し、宇宙コロニーの一部勢力は地球降下作戦「オペレーションメテオ」を発動。流星に偽装した5機のガンダムを地球へと向かわせる。その内の1機、ヒロ・ユイが乗るウイングガンダムは、降下途中の軌道上で、OZの攻撃輸送艇に発見されてしまう。輸送艇に搭乗していたエリート部隊「スペシャルズ」のゼクス・マークス佐は、不審な隕石の正体が「ガンダム」であることを察知。「あれが新たな戦を産み落とす、戦争の卵と云う奴だ!!」積載してあったMSリーオーを駆って出撃するゼクス。「任務変更、了解」ウイングガンダムは、ゼクスとの交戦によって損壊し墜落、海底に沈んだ。間一髪で脱出したヒロは、近くの海岸に流れ着く。外交官の父に同行していたリリーナ・ドーリアンは、偶然、海岸に倒れ伏すヒロを発見。顔を見られたヒロは自殺を図るも失敗。駆けつけた救急車を奪って逃走する。数日後、ヒロはリリーナの通う学園に転校してきた。無事を喜ぶリリーナに対しヒロは告げた。「お前を殺す」と。



Scenario for Bloodshed

ニューエドワーズ基地において、連合首脳による会議が開催された。穏健派のノベタ元帥は、コロニーとの共存共栄を提唱し、会議に参加する大多数がこれに賛同。平和への道が開かれるはずであった。しかし、トリーズが流した偽情報によって、そこにOZの首脳陣が集結していると誤認させられたガンダムが襲撃をかける。さらに、首脳らに用意された脱出用のシャトルには、OZの紋章が掲げられていた。ウイングガンダムを駆るヒロは、その紋章に照準を定める。「はやまるな、若者よ…」コロニーとの共存を望むノベタ元帥は、そのパイロットを思い心を痛めていた。一方、この混乱に乗り、トリーズは「オペレーション・ディブレイク」を発動。各地のスペシャルズが一斉に蜂起してクーデターを完遂する。「任務、完了……」シャトルを撃墜し、達成感に浸っていたヒロにシェンロンガンダムの五翼が冷や水を浴びせかける。たった今、我々はシャトルとともに連合の平和論者を一掃してしまったのだと。「俺は…俺は…!?」愕然とするヒロたちの絶望をよそに、歴史の表舞台に姿を現したトリーズ率いるOZ。世界の混迷はさらに深まろうとしていた……。

写真真はイメージです。

Party Night

暗殺された養父が死の間際に告げた真実。リリーナは、かつて連合に滅ぼされたピースクラフトの王女であった。その運命を受け入れ、地球へと帰還したリリーナは、学園を出る手続きをしていたヒロに語りかける。「せっかくの学園祭だもの、あなたも楽しんでいて…せめてダンスが終わるまで」ヒロに銃を突きつけられながら、宇宙でドクターJと出会い、ヒロたちの使命を知ったことを告げ、「リリーナ・ドーリアン」としての最後の夜を、せめてともに過ごしたいと申し出たのだ。その決意を受け入れたヒロは、リリーナをダンス会場へとエスコートする。そこに突如として、MS部隊を引き連れたレディ・アンが乗り込んで来た。レディ・アンの目的は、ドーリアン暗殺の現場を目撃しているリリーナの抹殺にあった。混乱の中、ヒロはウイングガンダムで応戦する。そして、リリーナの危機を察知するや、ヒロは彼女を庇ってしまう自分に気付く。「何をしてるんだ、俺は。こいつは死んでくれた方がいいはずなのに…!?」ヒロは自らの行動に混乱するのであった。



New Mobile Report Gundam W

Story 人類の歴史は宇宙移民の開始をもってA.C. (コロニー=アフターコロニー)に移行した。制定から100年を過ぎた頃、コロニー計画はようやく最初の成功例を見る。その後も紛争は各地で頻発し、A.C. 133年。紛争解決の手段として、合議制による集団的安全保障組織として“地球圏統一連合”が設立された。さらに連合は平和維持のためとして“連合軍”を創設。圧倒的な軍事力で反抗勢力を制圧していった。A.C. 150年、連合に対する反発が強まり、各種問題の調停機関として“コロニー問題協議機関”が設立され、各コロニーに支部が設置された。そしてA.C. 165年、ヒロ・ユイが協議機関代表に就任。非暴力、非武装を掲げ、各地を巡訪し賛同者を増やしていった。数年を経て、その成果が結実する寸前のA.C. 175年、ヒロ・ユイは暗殺される。これによりコロニーは統一性を失い更なる混迷に陥る。連合は秩序回復を標榜して新兵器MSを投入。すべてのコロニーを強圧的な軍政下に置き、各コロニー間の自主的な往来や連絡を断絶させた。そして20年後のA.C. 195年。コロニーは、5機のガンダムによる地球降下作戦「オペレーションメテオ」を敢行する。これを機として地球圏は、新たな動乱の時代に突入する。



PILOT: ヒロ・ユイ

コロニーの伝説的指導者の名前をコードネームに持つ少年。任務を忠実に実行する完璧な兵士として育てられるが、リリーナとの出会いの中で、人間らしい感情を取り戻していく。

TRANSFORMATION

アフターコロニーにおける航空戦力は、基本的に航空機によって賄われている。飛行形態に可変する空陸両用MSのエアリーズなどもOZは供給しているが、機動性はそれなりに優秀ではあるものの、武装が貧弱で、戦闘機や爆撃機に完全に置き換わるものではなかった。しかしウイングガンダムは、航続距離、ドッグファイト能力、空対空、空対地戦闘のあらゆる局面において、既存のどのMSや、航空機にも引けを取らない戦闘継続能力を持っている。実際には、単騎で双方の能力を合わせ持つ兵器の存在はナンセンスなのだが、ウイングガンダムは変形して機体特性を変更する事で、その双方に対応している。基本的にはバスターライフルとシールドを機首およびカウリングとして転用する事で機体の飛行特性を変更する。このドッキング機構はそれぞれのパーツが相互に位置情報をリンクしつつ、フルオートでモード変更を完了する。MS形態時には、人型である事に基づく柔軟な運動性を遺憾なく発揮し、バード形態時には、堅牢な飛行体として大気を貫く。ただし、その速度域に応じて空力特性を微妙に調整する事も可能であり、ホバリングから極超音速飛行まであらゆる“飛行”に対応する。



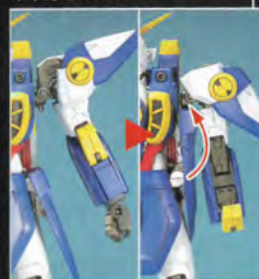
Bird Mode

主翼は各ブロックが連動して可動。バックパック基部の可動と相まって、多彩な飛行シーンを演出。

バスターライフルとシールドは連結式。

腰のサイドアーマーが上半身へ移動、ワキと結合し、上半身と下半身をロックする。

ヒザ関節は、バーニア基部と連動可動。変形時に脚部をコンパクトにまとめる。



腕部が変形、ツメが着陸脚となる。

ウイングガンダムの可変機構は、MS形態時の可動軸やジョイント機構を可能な限り流用して行われている。本来は飛行に適さない人体構造を模したMS形態から、スラスターの位置や機体形状、空力特性などのほか、可能な限り質量中心に推力を集中させる形状に変形させたモードがバード形態なのである。一見、ショルダーアーマーや腰部などを単純に回転させているだけに見えるが、MS形態時には、機動性向上のため、機体の中心軸から見て放射状に配置されていた各スラスターのベクトルが、バード形態時には後方へと集中しているのである。



Mobile Suit

PAINTING

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。

●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

ウイングガンダム

- 本体等ホワイト部の塗装色。ホワイト (100%)
- 胸等ブルー部の塗装色。コバルトブルー (80%) + インディゴブルー (20%) + ブルー (少量)
- アンテナ等イエロー部の塗装色。イエロー (45%) + ホワイト (35%) + オレンジ (20%)
- 腰等レッド部の塗装色。モンザレッド (100%) + ホワイト (少量)
- ビームライフル等グレー部の塗装色。ニュートラルグレー (90%) + ブラック (10%)
- ビームライフル マグジン等メタリックグレー部の塗装色。黒鉄色 (100%) + ブラック (少量)

ヒロ・ユイ

- 顔 肌色部の塗装色。はた色 (100%)
- Yシャツ ホワイト部の塗装色。ホワイト (100%)
- ベスト ブラウン部の塗装色。ブラウン (100%)
- スーツ パープル部の塗装色。パープル (65%) + ホワイト (35%) + ブラック (少量)
- 髪 ダークブラウン部の塗装色。マホガニー (100%)
- ランニングシャツ グリーン部の塗装色。RLM02グリーン (70%) + グリーン (30%)
- スパッツ ダークグレー部の塗装色。ミッドナイトブルー (90%) + ホワイト (10%)
- ブーツ イエロー部の塗装色。ミッドナイトブルー (90%) + ホワイト (10%)

■ワンポイントステップ

スミ入れしてみよう!!

ガンダムマーカースミ入れ用 (別売り) などを使用して、ミノの所に線を引きこめて、模型が引き締まります。



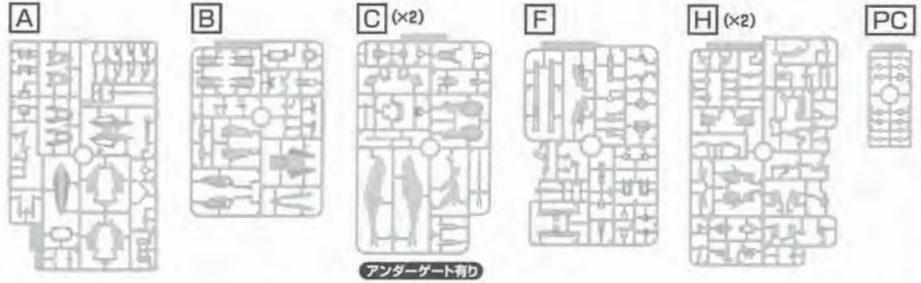
[before]



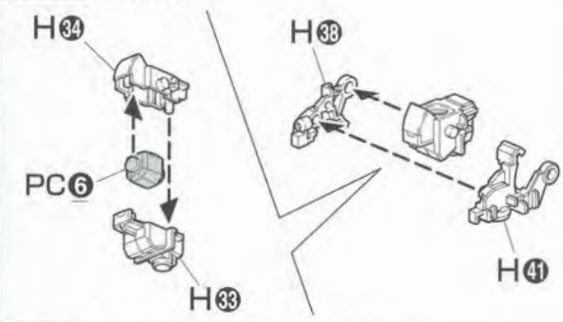
[after]

789 LEG UNIT

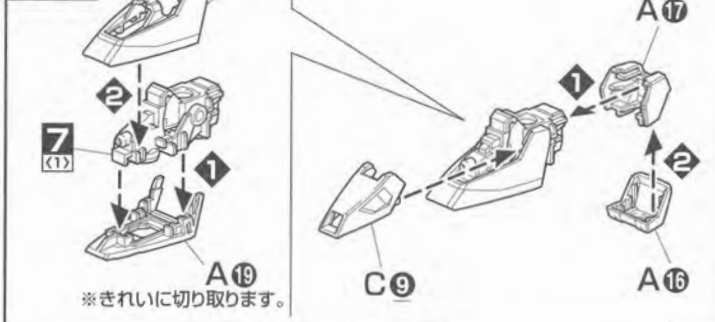
・組立 7・8・9 で使用するパーツ



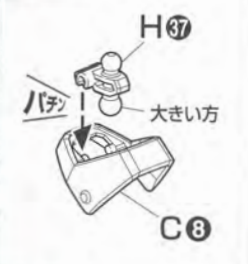
7 (1) (脚部の組立) LEG UNIT



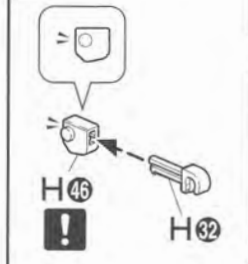
7 (2) (脚部の組立) LEG UNIT



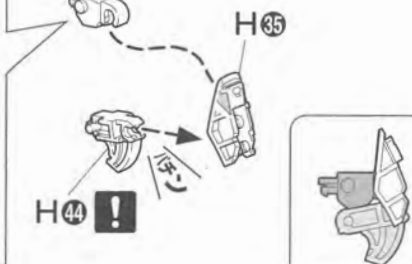
7 (3) (脚部の組立) LEG UNIT



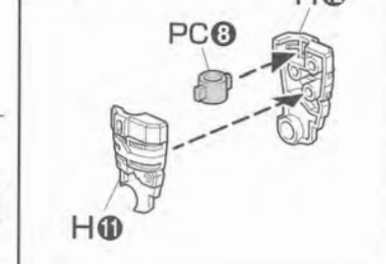
7 (4) (脚部の組立) LEG UNIT



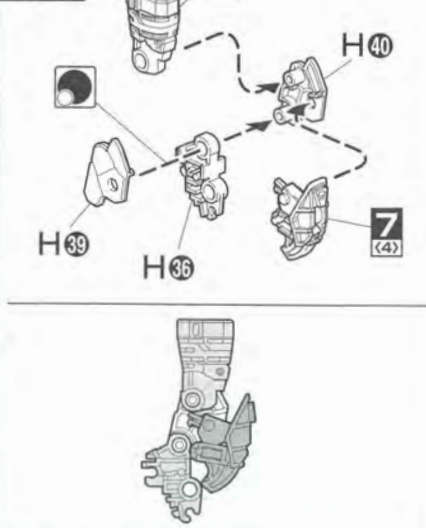
7 (5) (脚部の組立) LEG UNIT



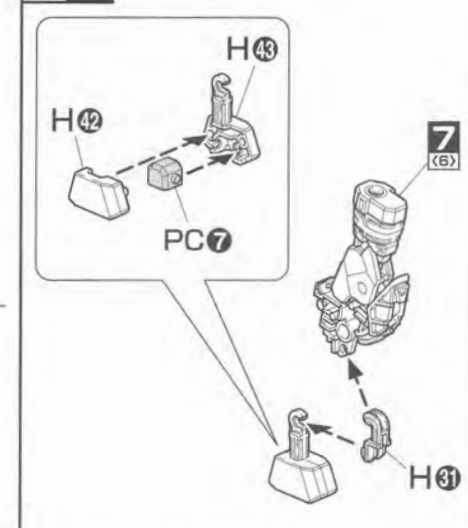
7 (6) (脚部の組立) LEG UNIT



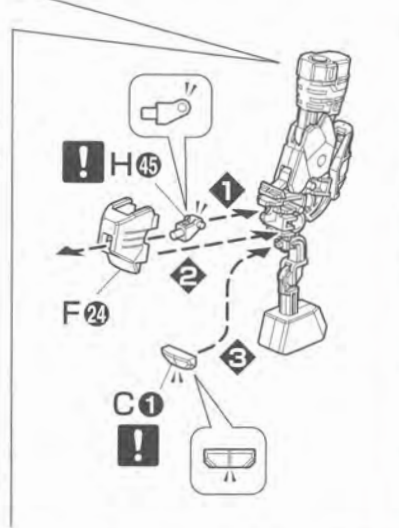
7 (7) (脚部の組立) LEG UNIT



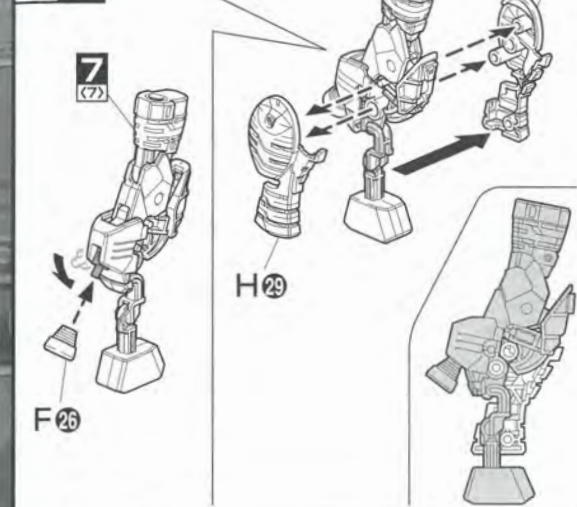
7 (8) (脚部の組立) LEG UNIT



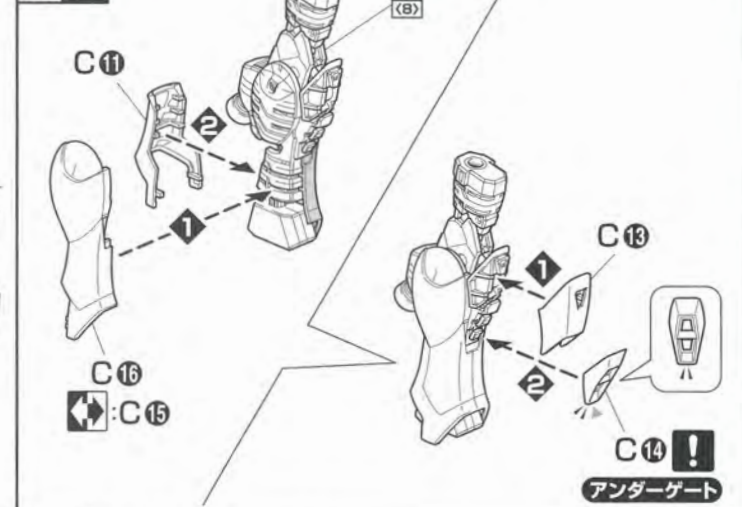
7 (9) (脚部の組立) LEG UNIT



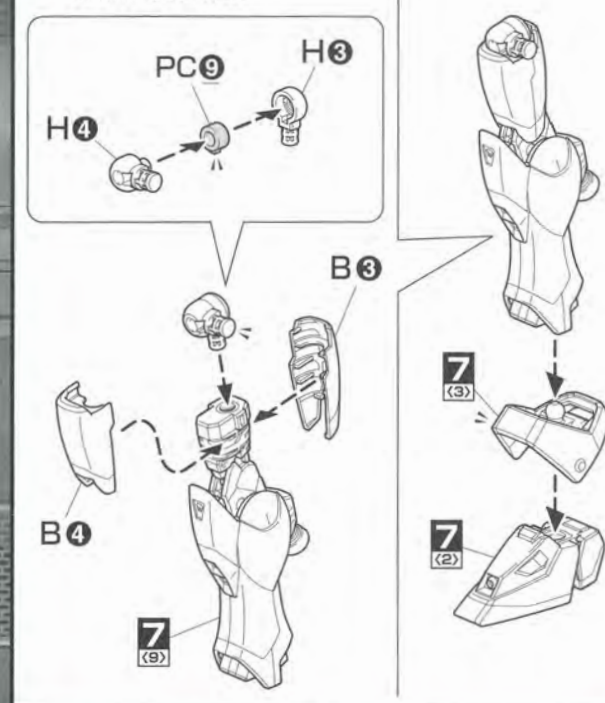
7 (8) (脚部の組立) LEG UNIT



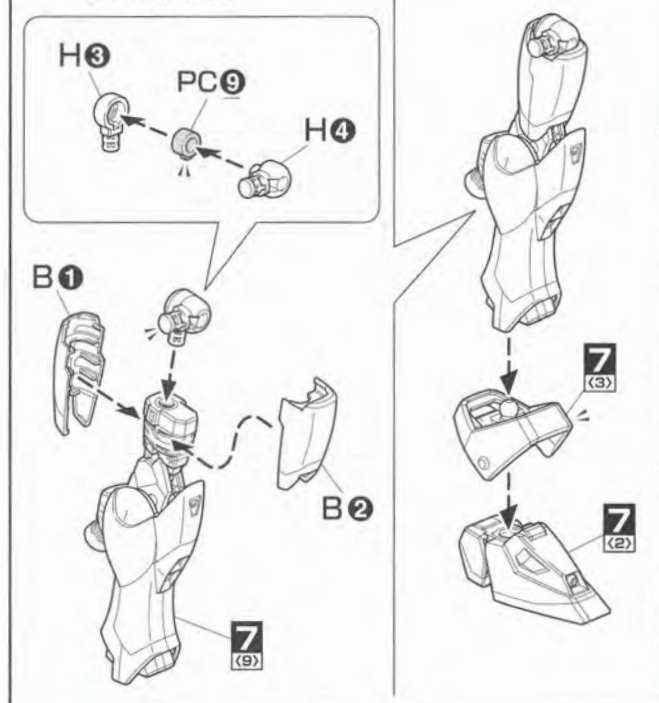
7 (9) (脚部の組立) LEG UNIT



8 (右足の組立) RIGHT LEG UNIT

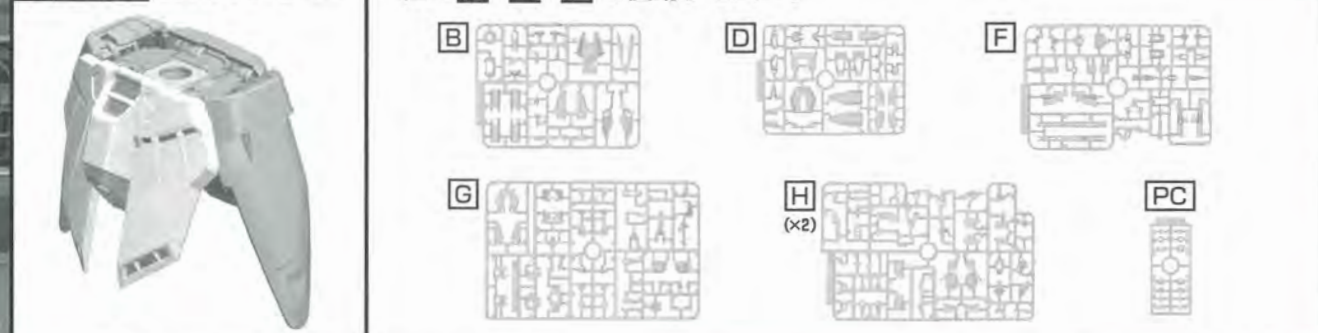


9 (左足の組立) LEFT LEG UNIT



101112 WAIST UNIT

・組立 10・11・12 で使用するパーツ



10 [腰部の組立]
(1) WAIST UNIT

10 (2)

10 (3)

※きれいに切り取ります。

10 (4)

※きれいに切り取ります。

10 (5)

※きれいに切り取ります。

11 [下半身の組立]
LOWER BODY

※きれいに切り取ります。

※きれいに切り取ります。

10で作った腰部

8で作った右脚

9で作った左脚

12 [完成]
FINAL ASSEMBLY

※きれいに切り取ります。

13 [バックパックの組立]
(1) BACKPACK UNIT

13 (2)

※各部品は、向きに注意して組み立てます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

D2: D1

〈横から見た図〉

〈前から見た図〉

F22: F23

14 (2)

14 (1) WING UNIT

14 (2)

※軽く広げながら差し込みます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

14 (3)

14 (3)

※軽く広げながら差し込みます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

14 (3)

※軽く広げながら差し込みます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

14 (3)

15 [右ウイングの組立]
RIGHT WING

15 (2)

15 (3)

※各部品は、向きに注意して組み立てます。

13 14 15 16 17
BACKPACK UNIT

・組立13・14・15・16・17で使用するパーツ

A	B	C (x2)	D
E (x2)	F	G	H (x2)

※組立図中の記号説明

切り取る部分

向きに注意して組み立てる

※組立図中の記号説明

反対側に取り付けるパーツ

x2 部品を数値の個数作ります

※組立図中の記号説明

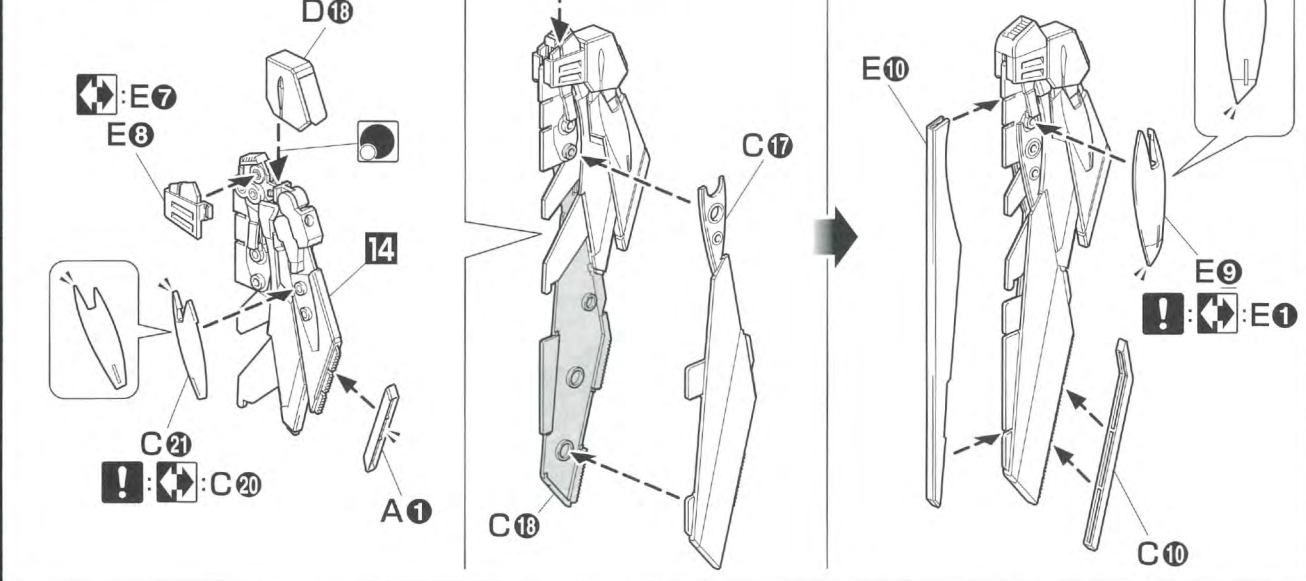
向きに注意して組み立てる

両側に同じパーツを取りつける

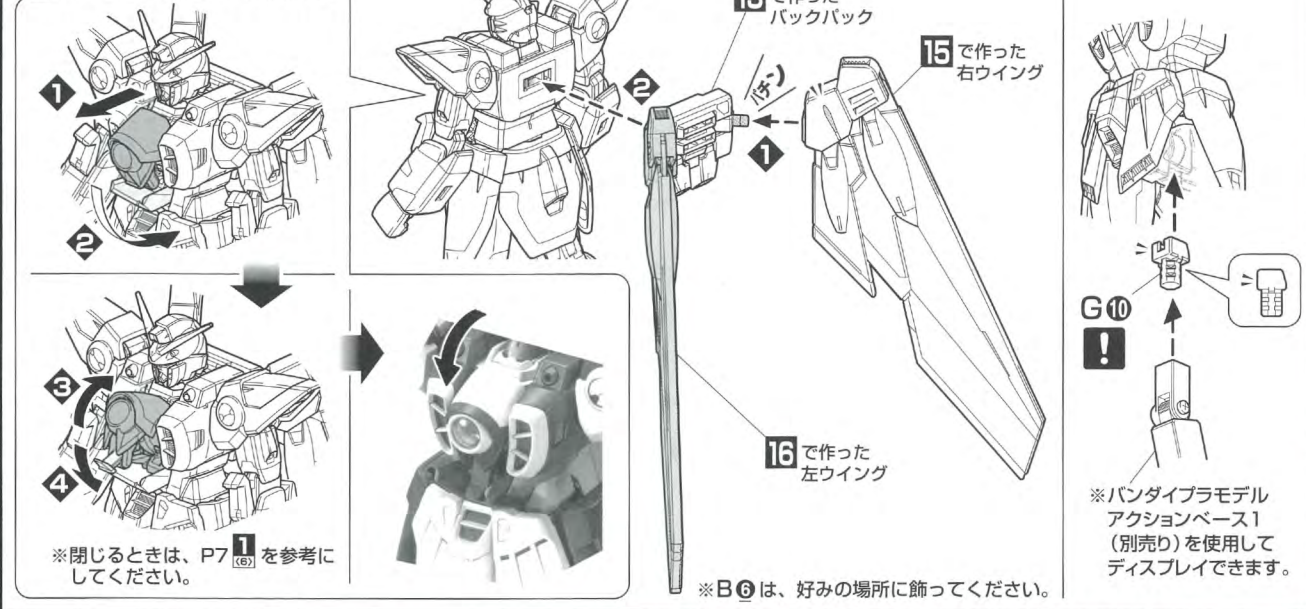
※組立図中の記号説明

後から組み立てる

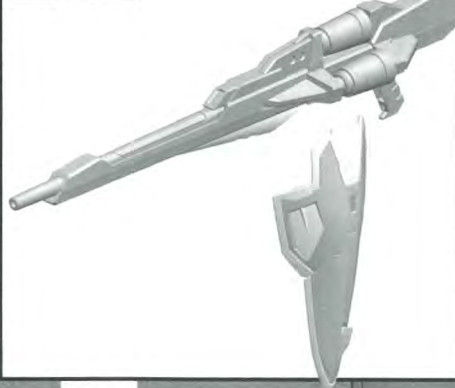
16 [左ウイングの組立]
LEFT WING



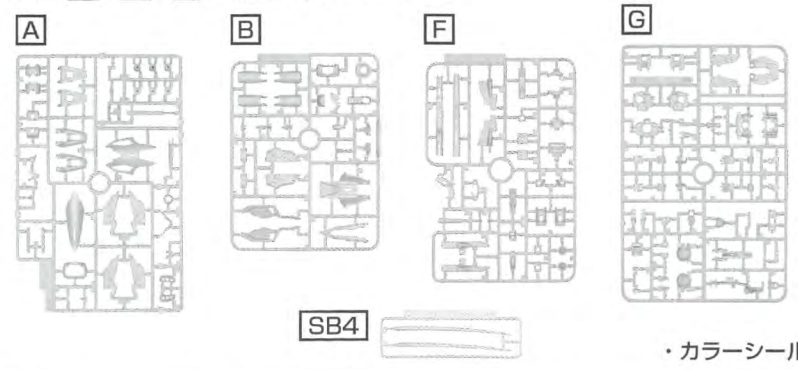
17 [コクピットハッチの開け方]
How to open the cockpit hatch



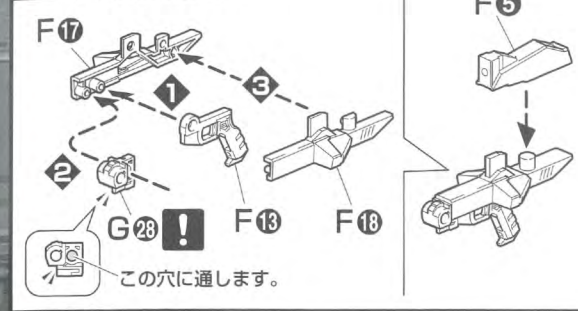
18 19 20 WEAPONS



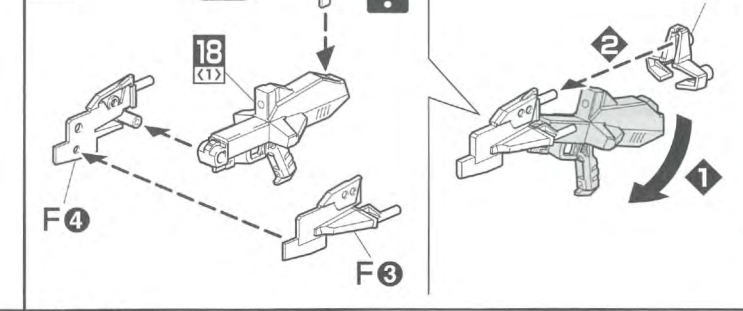
・組立18・19・20で使用するパーツ



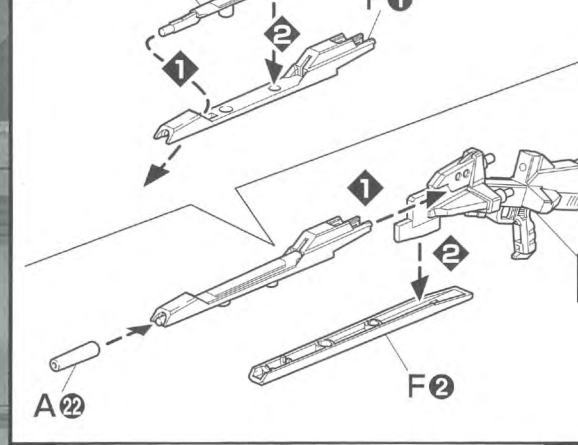
18 [バスターライフルの組立]
(1) BUSTER RIFLE



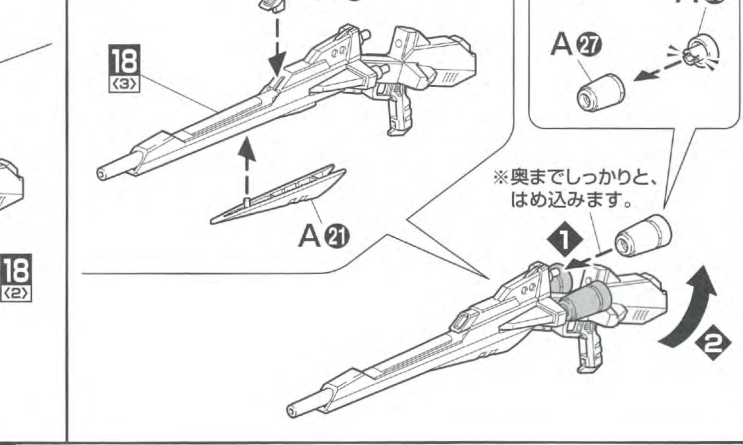
18 (2)



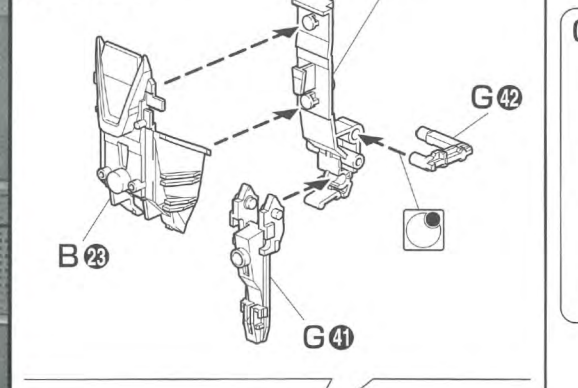
18 (3)



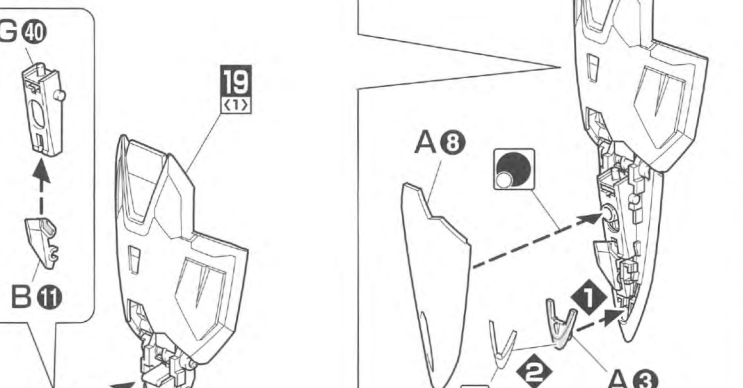
18 (4)



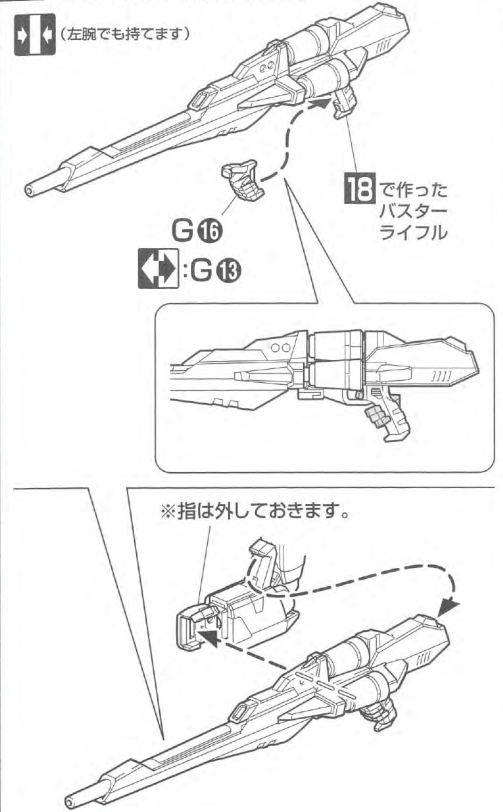
19 [シールドの組立]
(1) SHIELD



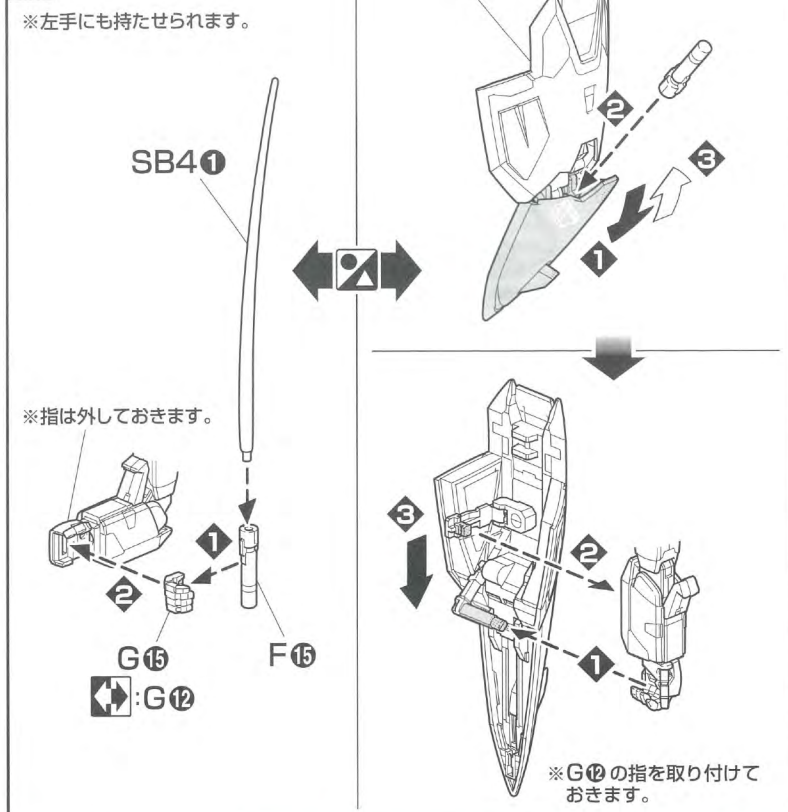
19 (2)



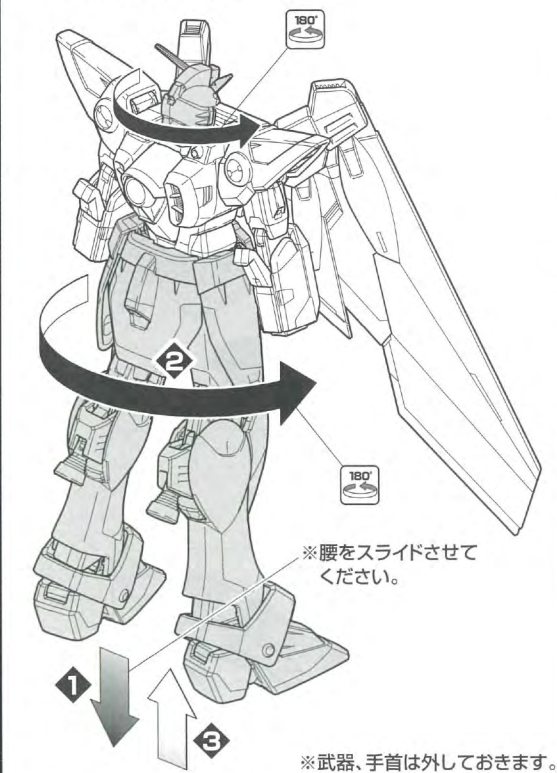
20 〔武器の装備〕
WEAPONS EQUIPMENT



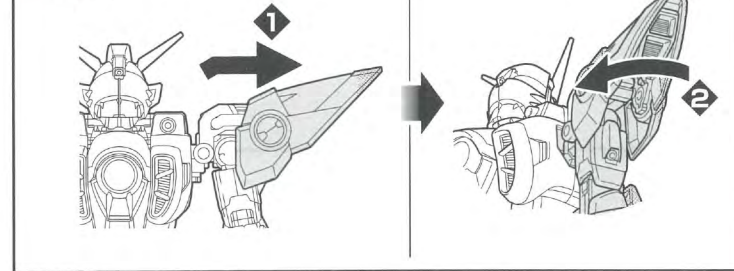
20
(2)



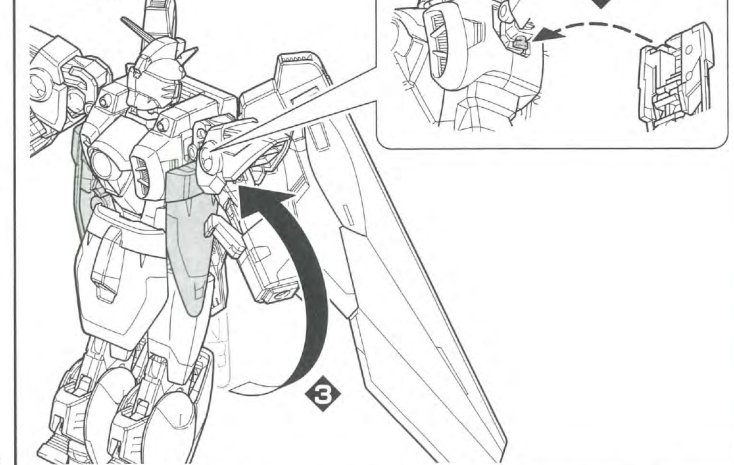
1 〔バード形態への変形〕
TRANSFORMATION



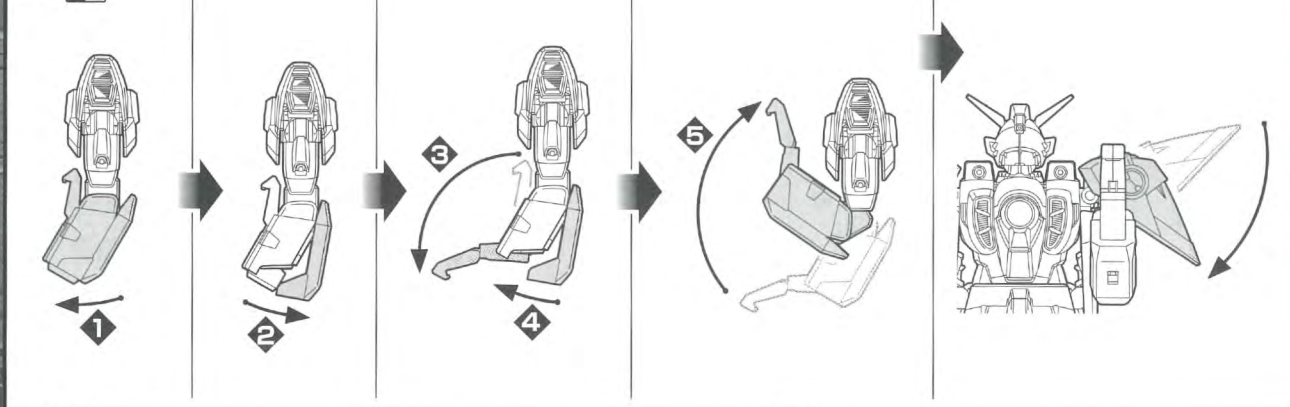
2



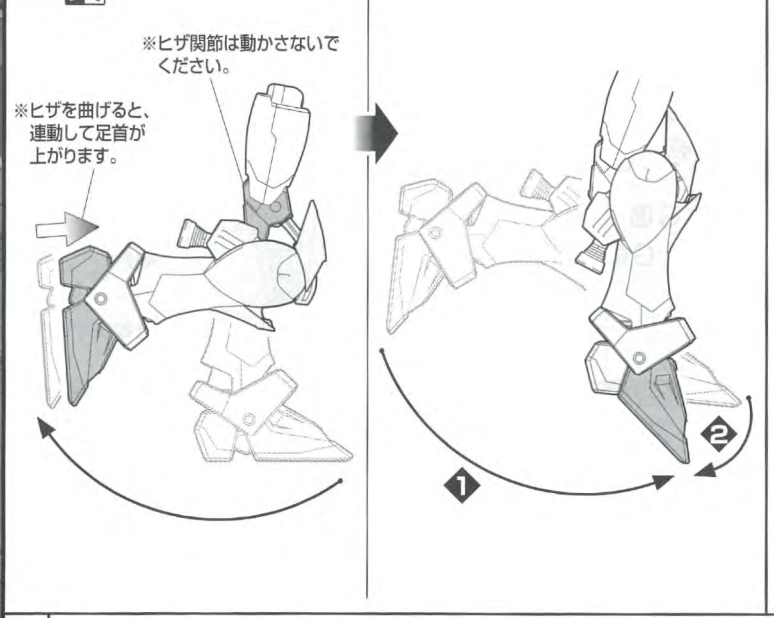
3



4



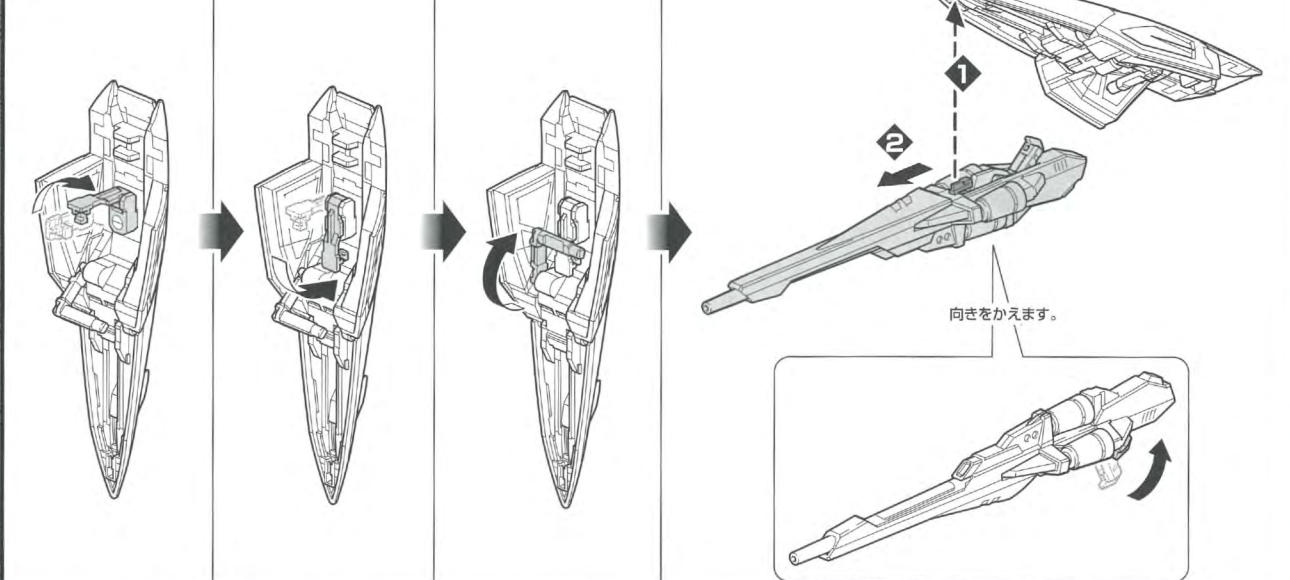
5

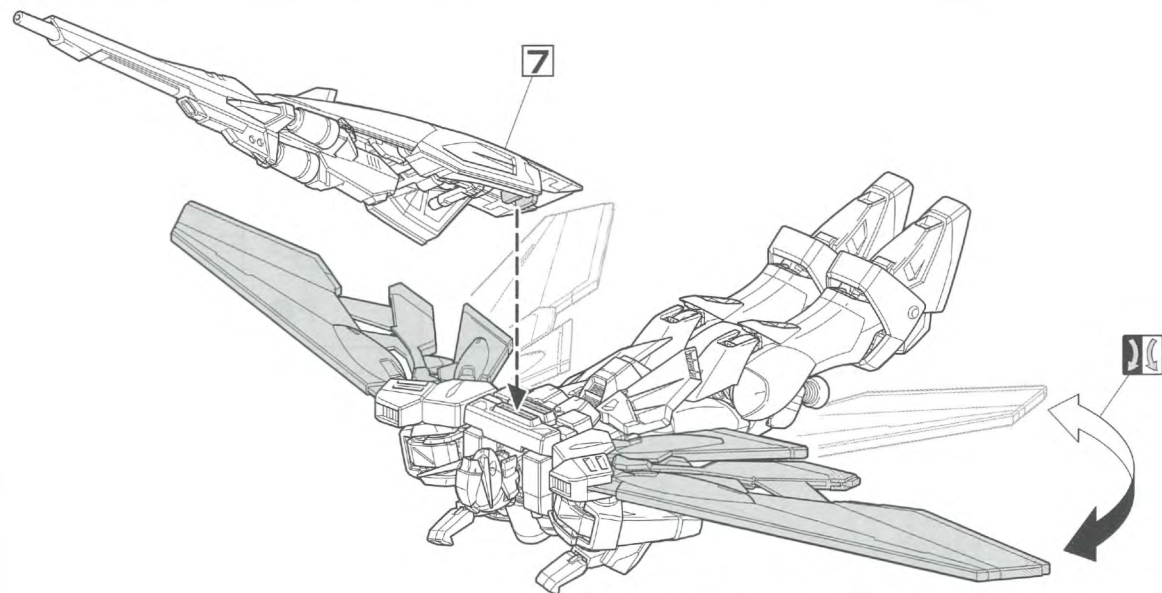


6

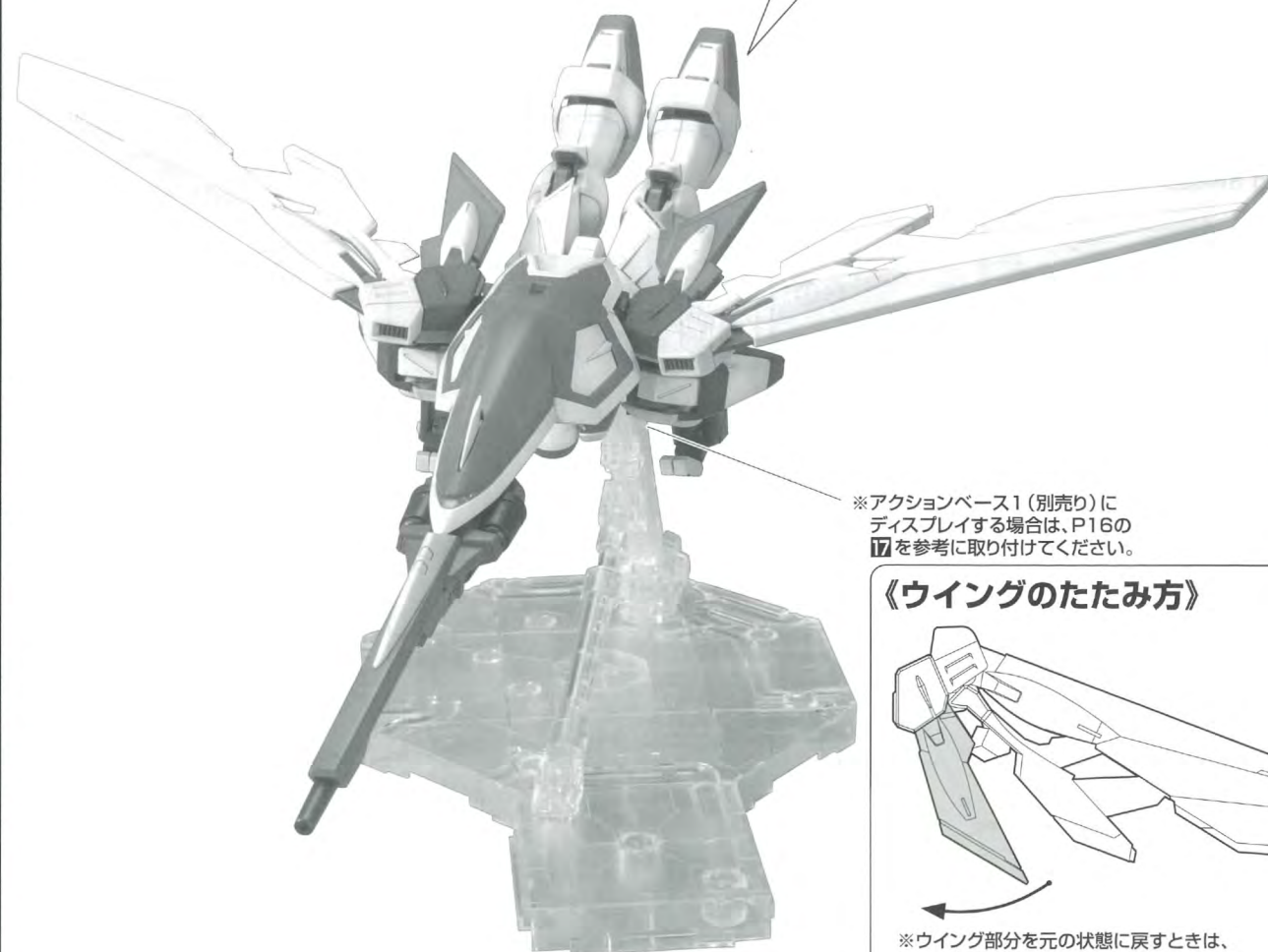


7



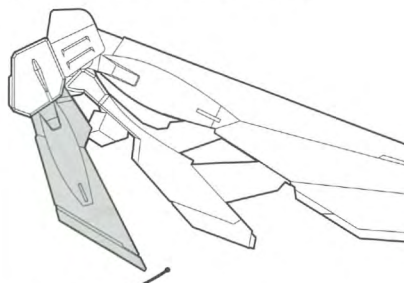


※取扱説明書やパッケージの写真を参考に可動させてください。



※アクションベース1 (別売り) にディスプレイする場合は、P16の17を参考に取り付けてください。

《ウイングのたたみ方》



※ウイング部分を元の状態に戻すときは、図の部分を実に動かしてください。

※組立図中の記号説明

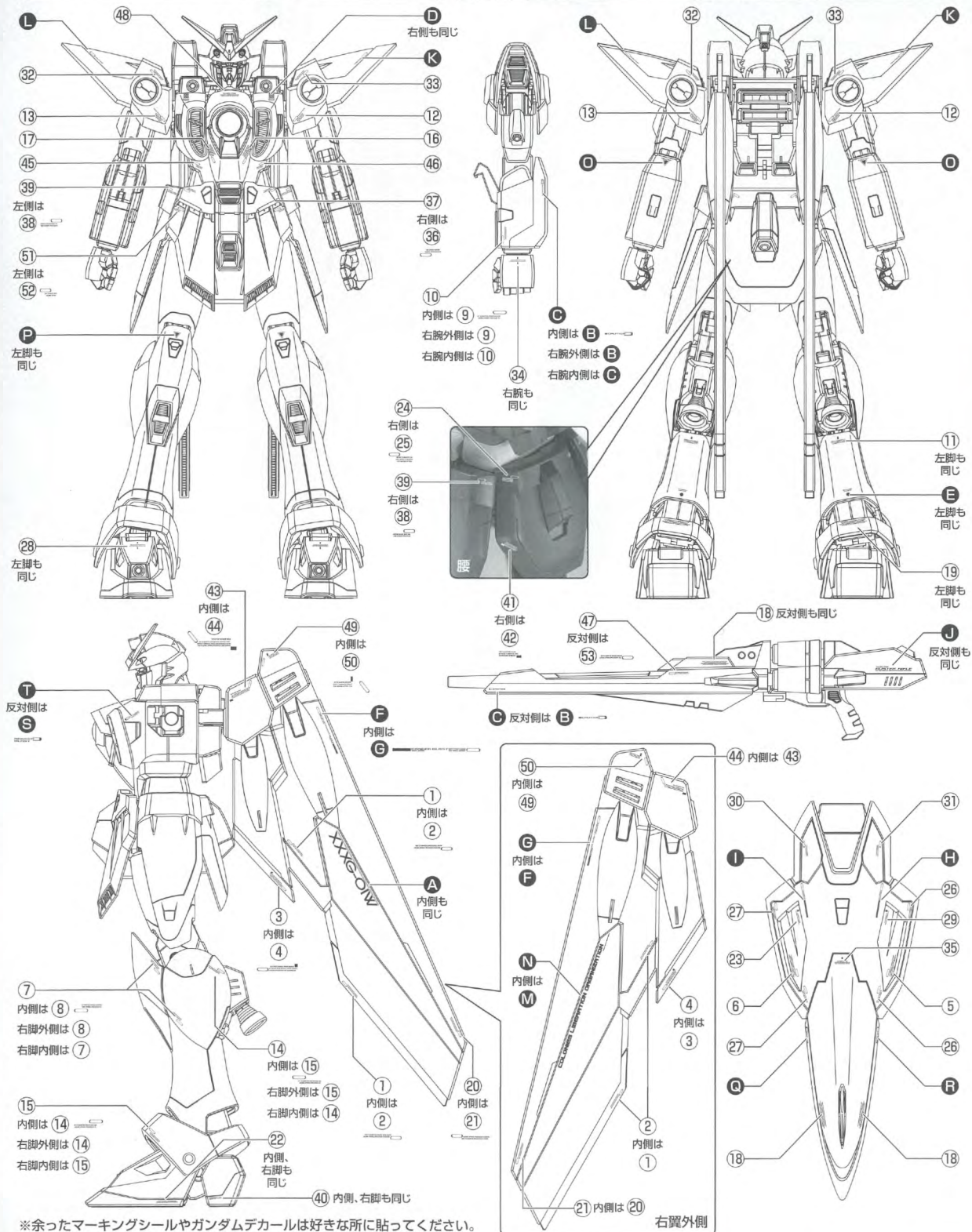
両側を同じように動かす

Seal

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

マーキングシールは「数字」、ガンダムデカールは「英字」で表記してあります。

【例】①・・・マーキングシール A・・・ガンダムデカール



【ガンダムデカールの貼りかた】

※P6のガンダムデカールの貼り方を参考に、あせらずゆっくり貼ってください。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。